

金沢21世紀美術館 殿

所在地：〒920-8509 石川県金沢市広坂1-2-1 tel. (076) 220-2800
 ホームページ：<http://www.kanazawa21.jp>



総務課 瀧本様

金沢21世紀美術館殿は、国立大学郊外移転や県庁移転による、金沢市中心市街地の再活性化・空洞化対策の一環として設立が計画され、平成16年10月にオープンいたしました。建物の特長は、(1)円形(2)5か所の入り口(3)開放感のあるガラス張り(4)コンセプトカラー「白」などであり、外壁や内部にはガラスと「白い壁」が多用され、自然の光を巧みに利用した空間が、表裏の無い透明感を演出しています。どこからでも館内に入りやすく、敷居が高い美術館のイメージはここにはありません。来館者に現代アートの持つ多様な表現性を体験頂くため、触れることができる作品や人が中に入れる作品、そして映像作品の展示もあります。それぞれの展示室は大きさ・高さ・形が異なっており、また展示室そのものが作品でもあり、建物自体も建築学的に評価されています。6年前の建物設計段階から、建築家・学芸員・金沢市の三者が一体となって美術館を構築しました。この夏休みは大盛況でしたが、今日の成功の裏には開館5～6年前からの地道な宣伝活動があります。触れることのできる作品を持つての学校巡回等20以上のイベントを企画し、金沢市民の美術に対する価値観を作り上げてきました。



美術館のコンセプトカラー「白」を演出する、「GIT5000」。



開館後1年間でのべ約157万人の来館者がありました。キャッチコピー「街は美術館であり、美術館は街である」の通り、美術館ゾーンの廻りには無料で利用できる交流ゾーンのほか、図書室で本を読んだりショップで買物したり、待ち合わせをすることもできます。美術館全体が広い公園となっており、芝生の上で遊べるので、児童や学童の遠足にも利用されています。誰もがいつでも気軽に来館でき、新たな出会いや体験をとてども大事にした美術館です。

先ずコンセプトありきだったそうですね？

瀧本様 設計事務所からの提案では、プロジェクタを設置する総合受付周辺の環境色は「白」とされていました。白いガラスに6面の映像が浮かび上がって並んでいるものを作りたい、このコンセプトは面白いと思いましたので、これが技術的に実現可能か否かと検討した結果、可能であるとの結論にいたりました。



「GT5000」を導入された理由をお聞かせください。

瀧本様 プロジェクタの選定で要求した条件は、見やすさ・明るさ・狭いスペースに6台収まること・熱処理が可能であること・朝から晩までの12時間以上連続稼働可能であること・省電力性であること。条件を満たしたのが「GT5000」でした。

設置施工で苦労されたそうですね？

瀧本様 「GT5000」を収納するバックヤードの全面の色が「白」で、背面投映用スクリーン面の色が「白い透明色」であることが、建築家の指定した絶対条件でした。スクリーン面を「白い透明色」にしても、バックヤードが「白」でなければ、スクリーン面の「白」は実現不可能ですから。そこで、バックヤード内部の色が及ぼすスクリーン画面の映り具合への影響を実験比較したところ、映りが良いのは当然のように黒でした。妥協案としてグレーの意見がありましたが、建築家の見解として美術館のコンセプトが「白」であり、映像の映り以前の課題として美術館全体の中での調和とデザイン性が大切という点から、美術館としても最終的には「白」を選択しました。もう一つの苦労は、バックヤードの奥行きが非常に狭かったことでした。「GT5000」6台を設置したバックヤードの寸法は、高さ4m奥行き1m余、ガラス貼りの狭い部屋で一人がやっと入れて作業できる程度ですから、設置作業の皆さんは汗だくで苦労されていました。



来館されるお客様の反応はいかがですか？

瀧本様 朝夕は映像がとても綺麗で、美術館のひとつのウリです。特に美術館を空撮した映像を映すと、立ち止まって見ている人が多いですね。美術館周辺には兼六園など緑が多く、昔ながらの街並みの中に美術館の白い建物が忽然としてあるので、CGと見間違える人が多く人気があります。

「GT5000」を運用されてみていかがでしたか？

瀧本様 あの全面真っ白な環境の中で、よくあれだけの映像が映るものですね。映像は問題無く見えますし、周囲と調和しています。画面の高さは、標準的な大人と子供の身長を考慮して設計段階から決まっていたし、視野角も結構広いことを要求したのですが、普段は何の変哲もない白いガラス面だけだと映像が浮かび上がると綺麗という、その狙いは成功しました。今はPDPや液晶でも大画面ができる時代になりましたが、この美術館のコンセプトを実現するために、「GT5000」を選んで大正解だったと思います。